

雑感 春立つ日に

■ 2015年2月2日早朝、枕元のラジオが「誕生日の花」として「セツブンソウ(節分草)」を紹介している。早春に花開くいわば野生のアネモネである。咲くのは2月というよりも3月頃で、落ち葉の陰から芽を出して青紫の雄蕊を持った白い花を開く(画像は「いきものがたり」というH.P.から拝借)。アナウンサーが「節分の頃咲くから節分草だが、旧暦の節分の頃に咲く」といった紹介をしているのを半分覚醒した耳が聞いている。



■ 「えっ？」と目が覚めた。節分に旧暦も新暦もないぞ。立春は太陽黄経が315度である日で、(春の)節分はその前日のことである。節分が新暦で2015年2月3日だとして、旧暦では2014年(でいいのかな?)12月15日であるだけであって、旧暦の2月3日の翌日(2015年と言えば3月23日)の太陽黄経が315度であるわけではない。

旧暦は新暦よりも約1ヶ月遅くなるということと、節分草が実は2月というよりも3月頃咲くと言う知識を結びつけて誤った発言をしてしまったのであろう。試みに、「セツブンソウ 節分 旧暦」でググってみれば、出るわ、出るわ「旧暦の節分の頃(3月半ば)に開花する」といった誤情報だらけである。

■ そう言えば、今年は2月2日が来年の「暦要項」の発表の日のはずである(2月1日が日曜日なので)。国立天文台の暦計算室のH.P.に行くと、果たして載っていた。

■ 思いは遡る。

新任だった頃、勤務先の近くの神社に開催日が旧暦で定められている大きな祭があり(今も大々的に開催されていて、教え子とその神社の権禰宜をしている)、年度末が近づいて翌年度の行事予定表を作成するに当たって、その「祭」がいつになるのかを調べる必要が生じた。神社に聞いても「神社庁(?)が秋頃に暦を発表するまで分かりません」とつれない返事。

そもそも旧暦はどう決まるのか。インターネットなども全くなかった時代、書籍などを探しても該当するものが見つからず思案に暮れた。あれこれ調べて分かったのは次のことだった。

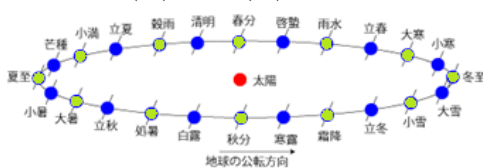
「旧暦などを決めるデータになる暦要項を、前年の2月1日に国立天文台(当時は東京天文台)が官報に発表する」

当時勤務していた高校はなぜか官報をとっていたので、そのデータを入手することはできた。

しかし、暦要項に旧暦が載っているわけではない。そこからどうやって旧暦を導き出したらよいか。実は、閏月があったて話は難しく、よく分からなかった。

■ その後、さる百科事典から閏月の決め方を知り、めでたく旧暦を計算することができるようになった。

必要なのは「暦要項」の「朔弦望」と「24節季」である。朔弦望とは月齢に基づき、新月(朔)や満月(望)の日時を記したものである。24節気は、1年の太陽の黄道上の動きを視黄経の15度ごとに24等分して決められている

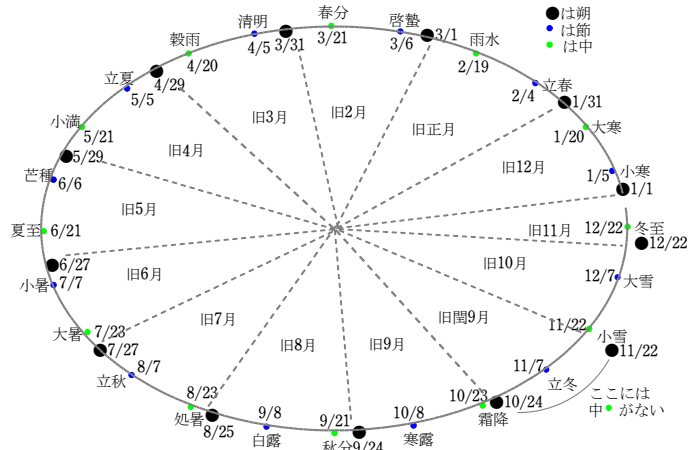


もの(図は国立天文台のH.P.のものを加工)で、1年を24等分

していると行って良い。24節季は立春を「正月節」、次の雨水を「正月中」のように、交互に「節●」と「中●」に分類される。新暦で言うと1ヶ月に1回ずつ節と中がある。しかし、月の満ち欠けから決まる旧暦では12ヶ月と11日ほどで365日になる(この半端な11日ほどが3年に1回の閏月が設定される原因になっている)ので、旧暦では1ヶ月に節と中の片方が入らないと言うことが起こりうるのである。

■ 2014年には閏9月があったので、それで仕組みを説明したい。

下図のように、24節季と朔を書き込むと、月の区切りが朔から次の朔の前日までで確定する。雨水を含む月が旧正月である。すると、10/24~11/21までの月の中に、中がない。小雪は11/22ですでに翌月である。したがって、この月を前月9月の閏月とするのである。



このように複雑なルールがあり、これも原則らしいから例外があるのかも知れない。

なお、2015年は立春が2月4日、旧正月1日が2月19日であるから、(閏月の故だが)立春が旧正月の前に来てしまうことになる。

古今集春歌上巻頭、在原元方の歌
(ふる年に春立ちける日よめる)

年のうちに春は来にけり一年を去年とや言はむ今年とや言はむ

も、まさにその状態を詠んでいる。

このようなことは、そう希なことではないようである。

■ なお、関連して「六曜」について付言する。

六曜は、暦に記載される日時・方位などの吉凶、その日の運勢などの事項の一種(Wikipedia)で、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口がこの順で繰り返される。

しかし、ときどきこの順番が保たれなかったりして、「あれ？」と思う人も多い。

六曜は旧暦と関連していて、旧正月1日は先勝と決まっている。そして、正月は順に2日は友引、3日は先負、…のように繰り返す。しかし、旧暦2月1日でリセットされて友引からスタートし、旧暦3月1日は先負から…というスタートになっている。そのため、旧暦の変わり目で順番がずれる。大の月が30日、小の月が29日であるから、旧暦の変わり目で必ず順番がずれることになる。

数式的には旧暦m月n日の六曜は $m+n \equiv p \pmod{6}$ とするとき、 $p=0, 1, 2, 3, 4, 5$ に、大安・赤口・先勝・友引・先負・仏滅が順に対応することになる。ちなみに、2015年2月4日は旧暦12月16日で、 $12+16 \equiv 4 \pmod{6}$ であるから、先負である。

これでこの「雑感」もやっと「数学」になった。

■ 暦は奥が深い。